

南ひだ健康道場「薬草の森」講演会

- 1 テーマ 南飛驒の薬草文化
- 2 講師 岐阜薬科大学薬草園研究室 教授 田中 俊弘
- 3 日時 平成20年 1月20日(日) 午後1時30分～3時
- 4 場所 南ひだ健康道場 健康学習センター(実践道場)
- 5 定員 150名(要予約)
- 6 申込期限 平成20年1月18日(金)

観察会で指導する田中先生

「薬草の森」の入口付近



南ひだ健康道場案内図



私達は暮らしの中で、身近にある様々な薬草を利用してきました。

今は病院や薬局・薬店が身近になったため、薬草を採取して利用するという事は希となり忘れられようとしています。

「薬草の森」では昨年より南飛驒の民間薬(注)を調べていて数多くの薬草が利用されていたことが解ってきました。

また明治6年に編纂された飛驒國の風土記である斐太後風土記にも薬草に関する記述があり、南飛驒においても薬草利用の歴史や文化があったことが解ってきました。

「薬草の森」で調べている南飛驒の薬草について薬草の専門家である岐阜薬科大学薬草園研究室の田中俊弘教授より解りやすく解説していただきます。

注：民間薬

庶民の間で伝承されている薬

主催：南ひだ健康道場(岐阜県健康福祉部健康福祉政策課)

問合せ先：岐阜県下呂市萩原町四美1557-3

TEL 0576-55-0010 FAX 0576-55-0444

ホームページ <http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/doujyou/>